

東北復興ツーリズム推進の 取組について

東日本旅客鉄道株式会社 東北本部
マーケティング部 地域連携ユニット
ユニットリーダー 戸田 憲介



東北における「復興ツーリズム推進」の意義



復興ツーリズム推進に向けた「マーク・スローガン」の制定



これから私たちが取り組んでいくこと

みんなで創り上げる（目指す）姿

- ・ 世界にも通用する **学びの場** としての 東北
- ・ 訪問者の **ココロが豊かになる** 東北
- ・ 国内外から繰り返し訪問される 東北

若年層 への訴求

全員で
磨き上げ

- ・ 他に類を見ない **防災・減災プログラム**
- ・ 「東北ならではの」のここでしかできない **自然・歴史文化 体験**

東北復興ツーリズム推進ネットワーク

東北エリアへの交流人口の拡大を通じた

復興の加速 地域の活性化

- ・ **教育旅行、企業研修** の誘致推進
- ・ 旅行商品の造成
- ・ コンテンツの情報集約
- ・ モデルコースの整備

探究学習
との親和性

伝承・学び

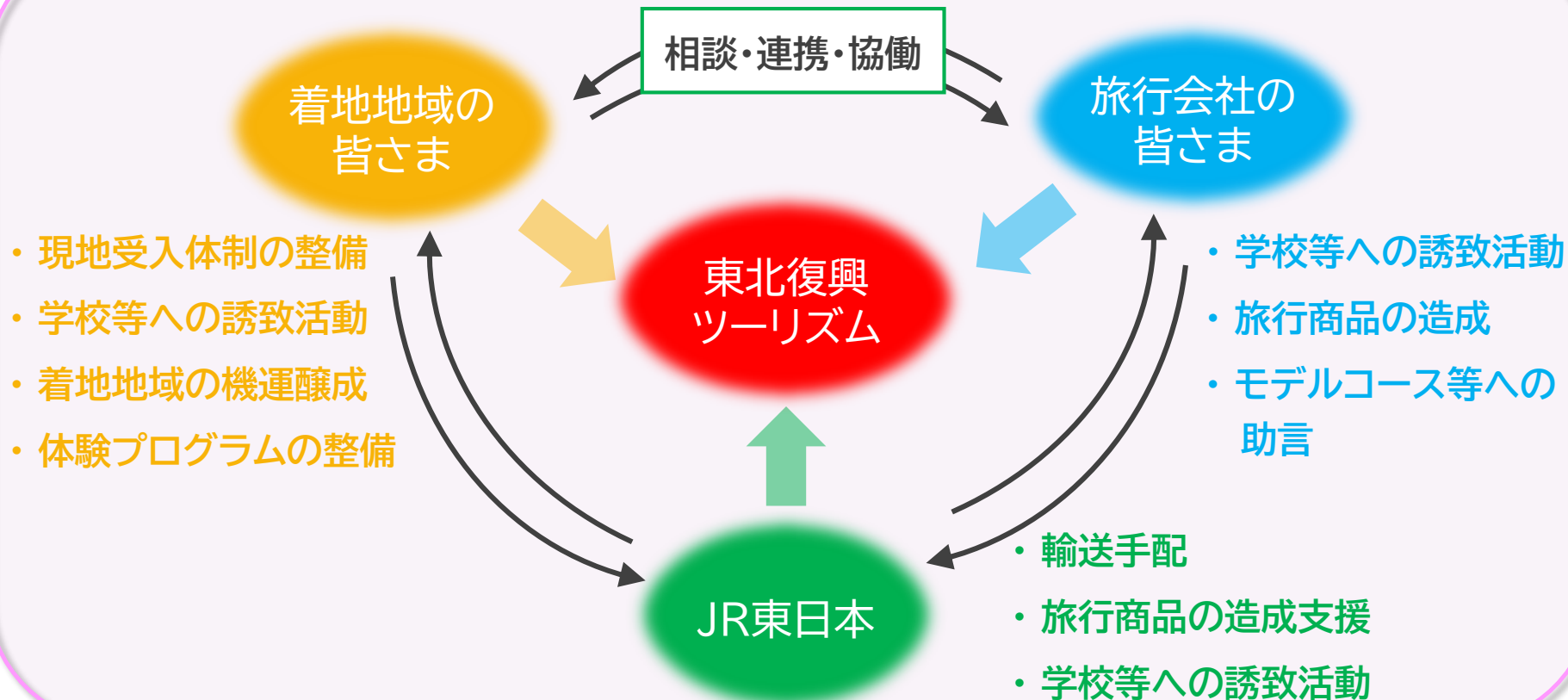
東日本大震災の教訓や災害への備えを学び、
後世に伝えていく**防災・減災プログラム**

取り巻く環境

- ・ 震災から12年
- ・ 震災伝承施設の整備が進む

ネットワーク内の連携を通じて、それぞれが持つ知見・ノウハウといった強みを最大限活かして、東北への教育旅行の誘致に取り組む

ネットワーク参画団体全体で創り上げる





東北
復興
「リリズム」

希望と学びを未来へ。

マーク・スローガンに込めた意味

- ・東北地方のカタチをイメージさせる6本のライン
- ・上向きの矢印は 東北に行こう 東北の未来へ 希望・発展 を力強く表現
- ・東北の空や海、山や大地を想起させるグラデーション

東北にしかない
体験価値



教育旅行としての
必要要素

- ・ 震災伝承施設の見学や語り部の講話を通じて学ぶ
防災・減災プログラム
- ・ 自然・歴史・文化・郷土料理・温泉などの
東北ならではの自然・伝統文化体験



- ・ 体験学習や自主研修の機会
- ・ 農泊や民泊といった地域・住民とのふれあい
- ・ 定められた予算内での体験価値の最大化

探究学習
との親和性

震災を経験したからこそ、東北でしか体験できない
希望と学びを未来へつなぐ 教育旅行モデルコースの整備

隣県周遊編(岩手～宮城)



	行程		
1日目	東京	東北新幹線やまびこ号	一ノ関 三陸エリアへ
2日目	震災・防災学習 (語り部講話・BRT体験乗車など)		バスで仙台へ
3日目	市内 班別行動	仙台	東北新幹線やまびこ号 東京

隣県周遊編(青森～岩手)

	行程		
1日目	東京	東北新幹線はやぶさ号	新青森 三内丸山遺跡 津軽の伝統を学ぶ
2日目	バスで移動	小岩井(観光農場見学)～花巻エリアへ	
3日目	平泉 バス移動	陸前高田で 震災・防災学習 (伝承施設見学)	東北新幹線やまびこ号 一ノ関 東京

バスを利用した隣県と組み合わせた行程も立てやすくなります

震災伝承施設 や 震災遺構の訪問促進

- 震災伝承施設や震災遺構を組み入れた旅行商品の造成に対する支援

- ✓ 鉄道部分の 割引レートの設定
- ✓ 宣伝媒体に対する支援



教育旅行担当者 への 情報提供

- 旅行会社さま向けの 観光素材説明会 での教育旅行に関わる 情報提供・発信
- 旅行会社の教育旅行担当者さま向けの FAMツアーの実施



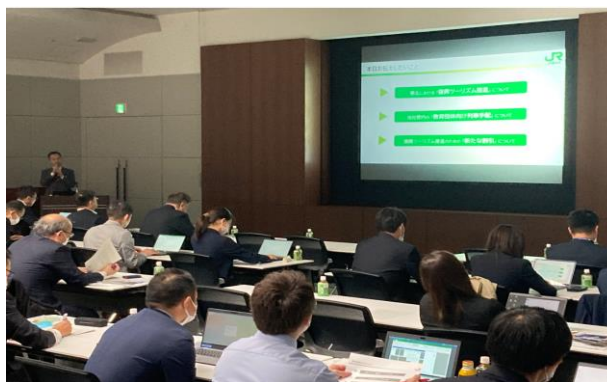
旅行会社向け観光素材説明会(11月15日開催)

概要

- 復興ツーリズムの推進に向けた教育旅行説明会と次年度のキャンペーンエリア等の観光素材の説明会の二部構成。19社54名にご出席いただく。
- 第一部の前半では、東北復興ツーリズムの概要や、当社管内の教育旅行における列車手配の仕組み、復興ツーリズムの推進に向けた輸送提案、ファムトリップの紹介等を行う。
- 後半は、東北観光推進機構より「だからこそ東北で学ぶ」と題して、教育旅行先としての東北の魅力について説明を実施し、旅行会社の教育旅行担当者に対して着地側の情報提供を実施。



会場の様子



復興ツーリズムの説明



東北観光推進機構さまからの説明

日程

- ① 2024年1月30日(火)～1月31日(水)
- ② 2024年2月 6日(火)～2月 7日(水)

期間

- ①・②とも1泊2日

行先

宮城・福島コース と 宮城・岩手コース

参加

東北復興ツーリズム推進ネットワーク会員企業である
旅行会社の教育旅行担当者

訪問先の一例

震災遺構仙台市立荒浜小学校



講話・BRT乗車



東北方面 への 輸送体制

- ・列車の **輸送ニーズに合わせた**

柔軟な列車手配のご提案

(連合体輸送・学生集約臨・増結対応 ほか)



受入先地域 との 更なる連携強化

- ・教育旅行の受入先地域 との **緊密な情報連携**
- ・受入地域の皆さまと 一体となった **誘致活動** 等



受け入れ先でのお出迎えの様子

教育旅行の訪問先として 選ばれる東北に！！

情報発信チャンネルの更なる強化

- ・JR東日本ホームページ内に
「東北復興ツーリズム」サイトを開設
- ・鉄道利用のお客さまをはじめ、一人でも
多くのお客さまとの **タッチポイント創出**

震災から得た**教訓**や**防災への備え**を学び、
日本の原風景が残る**東北の魅力**を
後生に伝えていく **東北旅の魅力**を発信



(イメージ)東北復興ツーリズムHP



クラブツーリズムパンフレット



びゅうツーリズム&セールス 復興ツーリズム特集ページ

▶「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」のキックオフミーティングを開催しました

JR東日本は、地域の皆さまと連携して「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」を設立し、7月25日にキックオフミーティングを開催しました。参加している自治体や企業、各種団体から100名を超える皆さまにご出席いただき、交流を深めました。その場で発表したマークは、東北のカタチをイメージした6本のラインおよび東北の豊かな自然を想起させるカラー、上方へ伸びる矢印はたくさんの人々に東北を訪ねてほしいという希望を表現しています。またスローガンには、東北を訪れた人が地域の方々とふれあい、そこで受け取った希望や学びを継承してほしいという想いを込めています。

詳しくはこちらをご覧ください。(https://www.jreast.co.jp/travel/fukko/)

新幹線車内誌 トランヴェール

東日本旅客鉄道株式会社
総務部 経理課
部長 東日本 太郎

〒151-8578 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号
NTT (03) 5334-1352 FAX (03) 5334-1352
J R (058) 6911 FAX (058) 6911
E-mail: aaaaaaaa@jreast.co.jp

(参考)使用例:JR東日本 名刺

- 他、
- ・『月刊教育旅行』9月号
 - ・エフエム仙台震災復興応援番組「Hope for MIYAGI」9/10
 - ・復興庁『新しい東北』復興・創生の星顕彰 特集記事への掲載

- 東北復興ツーリズム推進ネットワークへの入会をご検討ください。
- 復興ツーリズムを推進するにあたって、モデルコースの整備に向けたコンテンツの磨き上げや情報発信についてご協力をお願いします。

ネットワークの皆さまで東北復興ツーリズムの推進に向けて取り組んでまいります！

ご清聴ありがとうございました